

The SHURE logo is displayed in a bold, italicized, black font within a black rectangular box that has a slight perspective effect.

# AD2

## ハンドヘルド型送信機

User guide for the Shure AD2 Axient Digital handheld transmitter.  
Version: 12.4 (2021-G)

# Table of Contents

		メニューマップ	12
<b>AD2 ハンドヘルド型送信機</b>	<b>3</b>	<b>メニューパラメーターの説明</b>	<b>12</b>
<b>警告</b>	<b>3</b>	Radioメニュー	12
<b>AD2ハンドヘルド型送信機</b>	<b>3</b>	Audioメニュー	12
<b>機能</b>	<b>3</b>	Utilitiesメニュー	13
性能	3	<b>赤外線同期</b>	<b>13</b>
デザイン	4	<b>周波数の手動設定</b>	<b>14</b>
電源	4	<b>ファームウェアの更新</b>	<b>14</b>
<b>付属品</b>	<b>4</b>	ファームウェアバージョン	15
以下の1つを選択します:	4	送信機のアップデート	15
<b>オプションのアクセサリ</b>	<b>4</b>	<b>RFミュート</b>	<b>15</b>
オプションのShureマイクロホンカートリッジ:	5	<b>セーフ起動</b>	<b>15</b>
<b>AD2送信機概要</b>	<b>5</b>	<b>入力オーバーロード</b>	<b>16</b>
<b>送信機コントロール部</b>	<b>6</b>	トーンジェネレーター	16
<b>ホーム画面表示</b>	<b>6</b>	マイクオフセットによりオーディオレベルを揃える	17
<b>インターフェースのロック</b>	<b>7</b>	カスタマーサポートへのお問い合わせ	17
<b>電池</b>	<b>7</b>	<b>仕様</b>	<b>17</b>
電池の装着	8	<b>周波数帯域および送信機出力</b>	<b>18</b>
Shure充電電池	9	ライセンスについて	21
バッテリー情報をチェック	9	<b>オーストラリアの無線に関する警告</b>	<b>21</b>
単3形乾電池と送信機の動作時間	10	<b>認証</b>	<b>21</b>
電池コンタクトカバーを取り付ける	10	ユーザー情報	22
<b>メニューパラメーター</b>	<b>11</b>		
メニューパラメーター設定のヒント	11		

# AD2 ハンドヘルド型送信機

## 警告

- バッテリーパックは爆発、または有毒な物質を放出する場合があります。火災または火傷の恐れがあります。開けたり、押し潰したり、改造したり、分解したり、60°C以上の熱に曝したり、焼却したりしないでください。
- メーカーの指示に従ってください。
- Shure充電座はShure充電式バッテリーの充電のみに使用してください
- 警告：電池が間違っ交換された場合、爆発する恐れがあります。同じ種類または同等の種類電池と交換してください。
- 決して口の中に電池を入れないでください。飲み込んだ場合は医師または最寄りの中毒事故管理センターまで連絡してください。
- ショートさせないでください。火傷または火災の原因となります。
- Shure充電式バッテリー以外のバッテリーパックを充電、または使用しないでください。
- バッテリーパックは正しく処分してください。使用済みバッテリーパックの適切な廃棄方法については、各地域の販売店にお問い合わせください。
- 電池（電池パックまたは内蔵電池）は直射日光、火などの高熱に曝さないでください。
- 電池は、水、飲料、その他の液体に浸さないでください。
- プラスとマイナスを逆にして電池を取り付けたり挿入したりしないでください。
- 小さい子供の手の届かないところに保管してください。
- 異常な電池は使用しないでください。
- 輸送の際には電池をしっかりと梱包してください。

注：必ず同梱の電源、Shure純正品を使用してください。

**警告：**誤った電池と交換された場合、爆発する恐れがあります。単3形電池のみを使用してください。

## AD2ハンドヘルド型送信機

ADシリーズのハンドヘルド型送信機は、ワイドチューニング、高密度（HD）モードで暗号化機能付きの完璧な音声品質とRFパフォーマンスを実現します。送信機は、耐久性の高いメタル構造で、AAまたはShure充電電池（ドック可能充電）、およびブラックまたはニッケル仕上げのオプションを搭載しています。

## 機能

### 性能

- 20 Hz～20 kHzにおけるフラットな周波数特性
- 入力段で自動的にゲインを最適化
- AES-256bit暗号化対応による送信音声の優れた秘匿性
- 120 dBを超える広大なダイナミックレンジ
- 見通し100メートル（300フィート）における送信到達距離

- 選択可能な送信モードにより、周波数効率および音声品質を最適化
  - スタンダード - 最適なカバーエリア、低レイテンシー
  - ハイデンシティ - 最大システムチャンネル数を大幅に増加
- 切替可能なRF出力レベル = 2/10/35 mW (地域により異なる)
- 内蔵のトーンジェネレーターとRFマーカによる円滑なカバーレンジテスト

## デザイン

- 交換可能なShureマイクロホンカートリッジ
- メニュー操作と視認性に優れたバックライト付LCD
- 頑丈な金属製ボディ
- メニューおよび電源ロックに対応

## 電源

- AAアルカリ電池2個で最大8時間の連続使用
- Shureリチウムイオン充電式バッテリーは、長時間のバッテリーライフ、正確な計測、およびゼロメモリエフェクトを提供します
- ドッキング充電用の外部充電端子を装備

## 付属品

ジッパー付きバッグ	95B2313
真鍮アダプタ	31B1856
Swivel Adapter, black	90F4046
単3形アルカリ乾電池 2個(2)	80B8201
Battery Contact Cover	WA618

## 以下の1つを選択します:

SM58 (RPW112)	KSM9ニッケル (RPW188)
BETA 87C (RPW122)	BETA 87A (RPW120)
BETA 58A (RPW 118)	KSM9ブラック (RPW184)
KSM8ブラック (RPW174)	KSM8ニッケル (RPW170)
KSM9HSブラック (RPW186)	KSM9HSニッケル (RPW190)

## オプションのアクセサリ

Shureリチウムイオン充電電池	SB900B
Radome Color ID Kit for AD2	WA617M

## オプションのShureマイクロホンカートリッジ：

SM58 (RPW112)  
SM86 (RPW114)  
SM87A (RPW116)  
BETA 58A (RPW118)  
BETA 87A (RPW120)  
BETA 87C (RPW122)  
VP68 (RPW124)  
KSM9ニッケル (RPW188)  
KSM9HSニッケル (RPW190)  
KSM9ブラック (RPW184)  
KSM9HSブラック (RPW186)

## AD2送信機概要

### ① マイクロホンカートリッジ

互換性のあるカートリッジのリストについては[オプションのアクセサリ](#)を参照してください。

### ② ディスプレイ

メニュー画面と設定を表示します。コントロールボタンのいずれかを押すとバックライトが点灯します。

### ③ 赤外線 (IR) ポート

受信機のIRポートに合わせて赤外線 (IR) 同期を行い、送信機の設定変更やファームウェアアップデートを行います。

### ④ メニューナビゲーションボタン

パラメーターメニューの操作と値の変更に使用します。

### ⑤ 電池コンパートメント

Shure充電電池または単3形乾電池2本が必要です。

### ⑥ 単3乾電池アダプター

Shure充電電池を使用する際には取り外します。

### ⑦ 電源オン/オフスイッチ

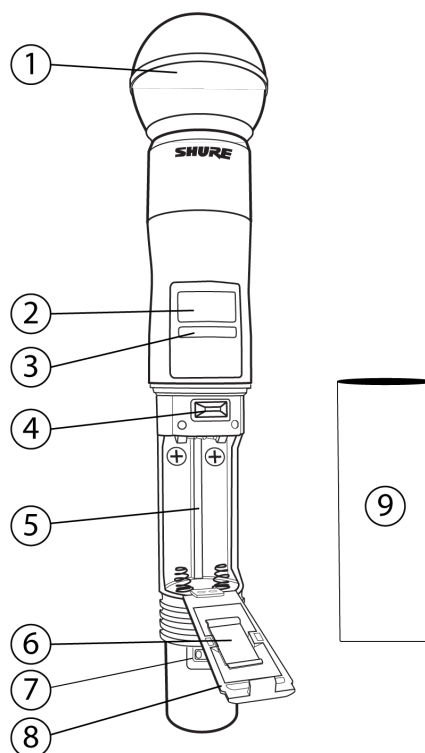
ユニットの電源をオン/オフします。

### ⑧ バッテリーカバー

電池を確実に固定するため、閉じる際にラッチ音を確認してください。

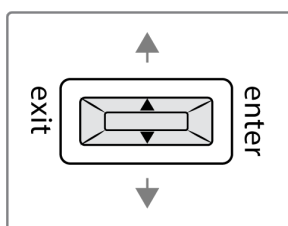
### ⑨ ハンドル

操作と電池の着脱時に緩めて外します。



## 送信機コントロール部

パラメーターメニューの操作と値の変更に使用します。



<b>exit</b>	"戻る"ボタンとして機能し、値の変更を保存せずに直前のメニューまたはパラメーターに戻ります。
<b>enter</b>	メニュー画面を開き、パラメーターの変更を決定します
<b>VA</b>	メニュー画面のスクロール、およびパラメーター値を変更します

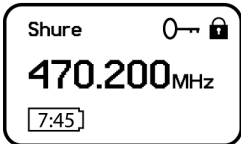
ヒント：次のショートカットにより簡単に設定変更を行うことができます：

- ▲ボタンを押したまま電源を入れると、送信機コントロールはロックまたはロック解除されます。
- exitボタンを押したまま電源を入れ、セーフ起動メニューに入ります。





## ホーム画面表示

ホーム画面には送信機の情報とステータスが表示されます。

ホーム画面では、4つの情報を選択して表示することができます。矢印ボタンを使い、以下の選択肢のいずれかを選択します：

チャンネルネーム 周波数 グループ (G) およびチャンネル (C) デバイスID	
--	--

送信機の設定を示すため、以下のアイコンが表示されます。

	時分単位またはバー表示による電池残量表示
	キー：暗号化が有効な場合に表示されます
	ロック：コントロールがロックされているときに表示されます。ロックされたコントロール（電源またはメニュー）を操作しようとする、アイコンが点滅します。
STD	STD：スタンダード送信モード
HD	HD：ハイデンシティ送信モード
	RFミュート有効：送信出力がミュートのときに表示されます

## インターフェースのロック

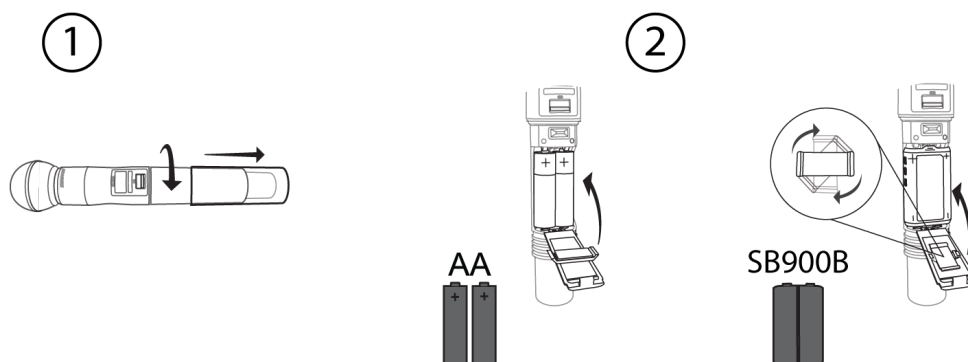
意図しない、または許可されていないパラメータの変更を防ぐため、送信機のインターフェースコントロールをロックします。ロックを有効にすると、ホーム画面に錠前アイコンが表示されます。

- Utilitiesメニューから、Locksを選択してロックオプションメニューから設定します：
  - None: コントロールのロックは解除されています
  - Power: 電源スイッチはロックされています
  - Menu: メニューパラメーターはロックされています
  - All: 電源スイッチとメニューパラメーターがロックされています
- enterを押して保存します。

ヒント：送信機のロックをすばやく解除するには：enterを2回押し、Noneを選択し、再びenterを押します。

# 電池

## 電池の装着



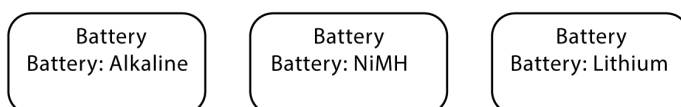
<p>① 電池コンパートメントを開く</p>	<p>図のように送信機のカバーを外すと、電池ボックスが現れます。</p>
<p>② 電池を装填する</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>単3形乾電池</b>：表示に従って電池（プラスとマイナスを確認）と単3乾電池アダプターを装填します。ドアを閉めて電池を固定します。</li> <li>• <b>Shure充電電池</b>：図のように電池を入れます（極性に注意）。単3乾電池用アダプターを取り外して、ドアに格納します。ドアを閉めて電池を固定します。</li> </ul> <p>単3乾電池を使用する場合、送信機のメニューを使って電池の種類を設定します。</p>

## 単3乾電池の種類の設定

送信機の残り使用時間を正確に表示するため、装着されている単3形乾電池の種類と同じになるよう送信機メニューで電池の種類を設定します。

Shure充電電池を装填する場合、電池の種類を設定する必要はなく、電池の種類はShureと表示されます。

1. Utilitiesに移動してBatteryを選択します。
2. ▼▲ボタンを使って、装填した電池の種類を選択します：
  - Alkaline = アルカリ
  - NiMH = ニッケル水素電池
  - Lithium = リチウム一次電池
3. enterを押して保存します。





## Shure充電電池

Shure SB900シリーズリチウムイオン電池は送信機の電源として充電オプションを提供します。充電電池は、1時間で容量の50%を充電でき、3時間で完全に充電できます。

Shure充電電池の充電器には、シングル充電器とマルチベイ充電器があります。SB900B充電式バッテリーはSBC200、SBC800、SBC220充電器を使用します。

**注意：**Shure充電器はShure製充電電池以外の充電には使用できません。

**注：**[電池温度が高い] という警告は、送信機のバッテリーを冷却する必要があることを示しています。そうしない場合は、送信機がシャットダウンします。デバイスを冷却してから、送信機のバッテリーを交換して使用を続行することを検討してください。

送信機に対して考えられる外部熱源を特定し、それらの外部熱源から離れた場所で送信機を使用します。

最高のパフォーマンスを得るには、すべてのバッテリーを外部熱源から離れた場所で、適切な温度条件で保管および使用する必要があります。

## 電池寿命

	UHF		1.x	
	2 mW/10 mW	35 mW	2 mW/10 mW	30 mW
SB900B	8 時間	4 時間	5 時間	4 時間
アルカリ乾電池	8 時間	3 時間	5 時間	3 時間

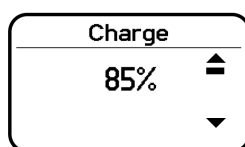
この表の値は、一般的な新品の高品質電池に基づいています。電池持続時間はメーカーと電池の古さにより異なります。

## バッテリー情報をチェック

Shure充電電池を使用しているときは、受信機と送信機のホーム画面に電池残時間を時分単位で表示します。

電池の詳細情報は受信機のBatteryメニューに表示されます：ユーティリティ > 電池

- 電池：装着した電池の化学的な種類：(Shure、アルカリ、リチウム、NiMH)
- バー：表示されるバーの本数を示します
- 時間：電池の持続時間
- 充電量：充電容量の割合
- ヘルス：現在の電池状態のパーセント
- サイクルカウント：装着されている電池の充電サイクルの合計
- 温度：電池温度 (摂氏と華氏)



## Shure充電式電池の管理と保管に関する重要なヒント

Shure充電電池を適切に管理し保管することで高い信頼性と長い寿命を保持することができます。

- 充電電池と送信機は常に常温で保管してください
- 充電電池を長期的に保管する場合は、最大容量の約40%に充電または放電してから保管してください
- 理想的な接点状態を保つために、定期的に電池端子をアルコールで掃除して汚れを落としてください

- 長期保管中は、6ヶ月毎に充電電池の状態を確認して必要に応じて最大容量の40%に再充電してください

ヒント：充電電池の詳細情報については、[www.shure.com](http://www.shure.com)へアクセスしてください。

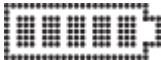
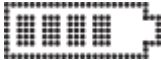

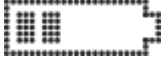


## 単3形乾電池と送信機の動作時間

送信機には次の単3形乾電池を使用できます：

- アルカリ乾電池
- ニッケル水素（NiMH）電池
- リチウム一次電池

送信機と受信機の画面に表示されている5段階の電池インジケータは送信機電池の充電レベルを示しています。次の表はおおよその残りの動作時間（時間:分）を表しています。

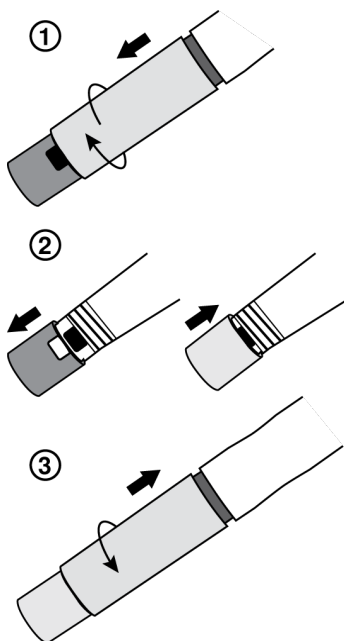
### アルカリ電池

電池インジケータ	電池の持続時間（時間:分）			
	UHF 2 mW/10 mW	1.x		
		35 mW	2 mW/ 10 mW	30 mW
	8:00 ~ 6:00	3:30 ~ 3:00	5:30 ~ 4:15	3:45 ~ 3:00
	6:00 ~ 4:00	3:00 ~ 2:00	4:15 ~ 3:00	3:00 ~ 2:15
	4:00 ~ 1:45	2:00 ~ 1:30	3:00 ~ 1:45	2:15 ~ 2:00
	<1:45	<1:30	<1:45	<2:00
	<0:45	<0:45	<0:45	<0:45
	<0:15	<0:15	<0:15	<0:15

## 電池コンタクトカバーを取り付ける

電池コンタクトカバーを使って、ブロードキャストまたはパフォーマンス中に電池接続による反響がないようにします。

1. 送信機を取り外します。
2. アンテナカバーを引っ張って取り外します。電池コンタクトカバーを所定の位置に取り付けます。
3. 送信機ハンドルを取り付けなおします。



---

## メニューパラメーター

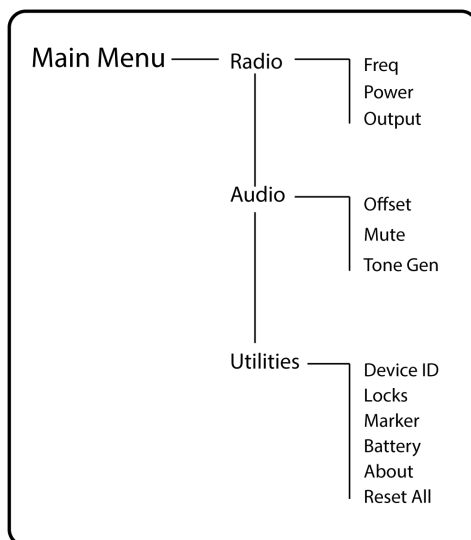
Mainメニューでは、送信機のパラメーターを3つのカテゴリーに分類しています：

- Radio
- Audio
- Utilities

## メニューパラメーター設定のヒント

- ホーム画面でenterを選択し、Main画面でメニュー項目を選びます。もう一度enterを選択して、パラメーターにアクセスします。
- 編集が可能になるとメニューパラメーターが点滅します
- パラメーター値の調整、または変更するには矢印ボタンを使用します
- 変更を保存するには、enterを選択します。
- 変更を保存しないでメニューを終了するには、exitを選択します

## メニューマップ



## メニューパラメーターの説明

### Radioメニュー

#### 周波数

グループ (G:)、チャンネル (C:)、または周波数 (MHz) の編集を有効にするにはenterボタンを押します。矢印ボタンを使用して値を調整します。周波数を変更するには、enterボタンを1回押して最初の3桁の数字を変更するか、2回押して次の3桁の数字を変更します。

#### Power

RF送信出力を高く設定すると、送信範囲が広がります。

*注意*：RF出力レベルを高くすると、電池動作時間が短くなります。

#### Output

RF出力をOnまたはMuteに設定します。

- On：RF信号が出力されます
- Mute：RF出力がミュートされます

### Audioメニュー

#### Offset

2つの送信機を使用している場合、または複数の送信機を受信機のスロットに割り当てている場合は、マイクのOffsetレベルを調整してマイクレベルのバランスを取ります。調整範囲：-12 dB~+21 dB。

#### Mute

有効にすると、電源スイッチが音声ミュートスイッチとして動作します：

- 電源スイッチがオン：音声信号がオン
- 電源スイッチがオフ：音声信号がミュート

ミュートモードを終了して、電源スイッチを通常の機能に戻します。

## Tone Gen

送信機は連続するテストトーンを生成します：

- Freq：トーンは400 Hzまたは1000 Hzに設定できます。
- Level：テストトーンの出力量レベルを調整します。

# Utilitiesメニュー

## Device ID

最長9つの文字または数字によりデバイスIDを割り当てます。

## Locks

送信機のコントロール部と電源スイッチをロックします。

- None: コントロールのロックは解除されています
- Power: 電源スイッチはロックされています
- Menu: メニューパラメーターはロックされています
- All: 電源スイッチとメニューパラメーターがロックされています

## Marker

作動中、Enterボタンを押すごとにWireless Workbenchにマーカーがドロップされます。

## Battery

電池情報を表示します：

- Battery Life: バーの表示と時間（時間:分）で報告されるランタイム
- Charge: 充電容量の割合
- Health: 現在のバッテリーヘルスの割合
- Cycle Count: 装着されているバッテリーの充電サイクルカウント合計
- Temperature: 電池温度（摂氏と華氏）

## About

次の送信機情報を表示します：

- Model: モデルナンバーを表示します
- Band: 送信機のチューニングバンドを表示します
- FW Version: インストールされているファームウェアのバージョン
- HW Version: ハードウェアのバージョン
- Serial Num: シリアルナンバー

## Reset All

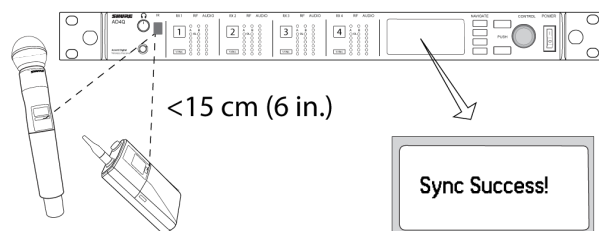
すべての送信機パラメーターを工場出荷時設定に復元します。

# 赤外線同期

赤外線同期により送信機と受信機間の音声チャンネルを確立します。

注：受信機の帯域は送信機の帯域に一致してはなりません。

1. 受信機のチャンネルを選択します。
2. グループスキャンを使ってチャンネルを使用可能な周波数にチューニングするか、手動で空いている周波数を選択します。
3. 送信機の電源をオンにします。
4. 受信機のSYNCボタンを押します。
5. 受信機のIR LEDが赤く点灯するまで、送信機と受信機のIRウィンドウを向かい合わせにします。完了するとSync Success!と表示されます。これで送信機と受信機の同期が完了します。



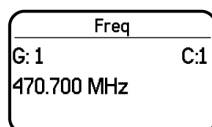
注：

受信機の暗号化設定を変更した場合には（暗号化を有効/無効）、赤外線同期を行って設定を送信機に送る必要があります。送信機と受信機用の新しい暗号キーは赤外線同期を行うたびに生成されます。送信機が暗号キーを得るためには設定する受信機チャンネルと赤外線同期を実行する必要があります。

## 周波数の手動設定

送信機は特定のグループ、チャンネル、または周波数に手動でチューニングできます。

1. Radioメニューを選択し、Freqを選択します。
2. グループおよびチャンネルを変更するには、スクロールしてG:およびC:を選択するか、周波数パラメータ (MHz) を選択します。周波数を変更する場合は、enterを1回押して先頭3桁を変更するか、2回押して末尾3桁を変更します。
3. ▲▼ボタンを使ってグループ、チャンネル、または周波数を変更します。
4. enterを押して保存したら、exitを押して終了します。



# ファームウェアの更新

ファームウェアは、各コンポーネントに埋め込まれ、機能をコントロールしているソフトウェアです。定期的に新しいバージョンがリリースされ、機能の追加や拡張が行われます。改善されたデザインを利用するため、Shure Update Utilityを使用して、新しいバージョンのファームウェアをアップロードおよびインストールできます。Shure Update Utilityは、<http://www.shure.com/>からダウンロードできます。

## ファームウェアバージョン

ファームウェアを更新するには、まずファームウェアを受信機にダウンロードし、次に受信機のIRウィンドウを使用して送信機のファームウェアを更新します。

Shure製デバイスのファームウェアには、「MAJOR.MINOR.PATCH」（例えば1.2.14）という形式で番号が付けられています。ネットワーク上のすべてのデバイス（送信機を含む）のファームウェアは、少なくともバージョン番号の「MAJOR」と「MINOR」の部分が同じである必要があります（例えば1.2.x）。

## 送信機のアップデート

1. ファームウェアを受信機にダウンロードします。
2. 受信機から次のメニューにアクセスします：Device Configuration > Tx Firmware Update
3. 送信機と受信機のIRポートを向かい合わせます。ダウンロード中は、向かい合わせのまま保持しておく必要があります（50秒程度かかります）。

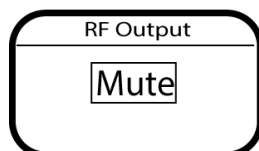
正しく合うと、赤いLEDが点灯します。

4. 受信機のENTERを押して送信機へのダウンロードを開始します。受信機にアップデートの進捗がパーセンテージで表示されます。

---

## RF ミュート

RFミュートは、RF信号を停止することで、送信機の電源はオンのままで、音声を送信されないようにします。このモードの時、ホーム画面にはRF MUTEDと表示されます。

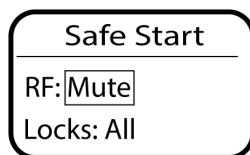


1. Radioメニューから、Outputに移動します。
2. 次のオプションからいずれかを選択します：
  - On：RF信号が出力されます
  - Mute：RF信号が停止します
3. enterを押して保存します。

送信機の電源を入れ直したり、電池を交換したりすると、OutputがOnに戻ります。

## セーフ起動

セーフ起動モードで電源をオンにすると、他のデバイスとの干渉を防ぎます。exit ボタンを押したまま、セーフ起動メニューが表示されるまでデバイスの電源を入れます。



セーフ起動メニューのオプション:

- RF: Mute または On
- Locks : [None] 、 [Pwr] 、 [Menu] 、 [All]

ナビゲーションボタンを使用して変更を行います。

ヒント：セーフ起動メニューを終了するには、電源を入れ直すか、一時的に電池を取り外します。

注：セーフ起動で送信機の電源がオンになっている場合、以前のロックとRFの設定は保持されます。

## 入力オーバーロード

音声入力に過大なレベルの信号が入力された場合、OVERLOADメッセージが表示されます。入力信号を減少させるか、マイクホン音を音源から離してオーバーロードを回避します。



## トーンジェネレーター

送信機には、連続音声信号を発生させるトーンジェネレーターが内蔵されてます。トーンは、サウンドチェックを実施する際や音声信号チェーンのトラブルシューティングに役に立ちます。トーンのレベルは-60 dB-0 dBに調整可能であり、周波数は400 Hzまたは1000 Hzのいずれかに設定できます。

ヒント：スピーカーやヘッドホンのオーバーロードを避けるため、必ず-60 dBのレベル設定で開始します。

1. AudioメニューからTone Genを選択します。
2. 周波数を400 Hzまたは1000 Hzに設定します。
3. Levelを選択したら、矢印ボタンを使用して、-60 dB~0 dBの範囲でレベルを調整します。

トーンを停止するには、メニューからOffを選択するか、送信機の電源を入れなおします。



Tone Gen	
Tone:	400Hz
Level:	-60db

## マイクオフセットによりオーディオレベルを揃える

2台以上の送信機を1台の受信機にリンクする際に、マイクロホンまたは楽器間で音量レベルに差が生じる場合があります。そのような場合は、Offset機能を使用してオーディオレベルを揃え、送信機間の音量差をなくします。送信機を1台で使用している場合は、Offsetは0 dBに設定します。

1. 1台目の送信機の電源を入れてサウンドチェックを行いオーディオレベルを確認します。完了したら送信機の電源を切ります。
2. 2台目の送信機の電源を入れ、サウンドチェックを行いオーディオレベルを確認します。他の送信機についても繰り返します。
3. 送信機間で聞こえる音量に差がある場合、送信機のOffsetメニュー (Audio > Offset) から、Offsetレベルを調整します。

Audio Offset: +1dB
-----------------------

## カスタマーサポートへのお問い合わせ

必要な情報が見つからなかった場合は、[カスタマーサポートまでお問い合わせください](#)。

## 仕様

### マイクオフセットレンジ

-12 ~ 21 dB (1 dB刻み)

### 電池タイプ

Shure SB900Bリチウムイオン充電電池またはLR6 1.5 V単3形乾電池

### 電池持続時間

@ 10 mW

Shure SB900B	最大8.5時間
アルカリ	最大8時間

## Dimensions

256 mm x 51 mm (10.1インチ x 2.0インチ) 長さ x 直径 340 g (12.0オンス) (電池除く) 鋳造アルミニウム -18°C (0°F) ~ 50°C (122°F) -29°C (-20°F) ~ 74°C (165°F)

## 質量

## 外装

## 動作温度範囲

## 保管温度範囲

## 音声入力

## 構成

アンバランス

## 最大入力レベル

1% THD で 1 kHz

145 dB SPL (SM58), 標準

## 送信出力

## アンテナタイプ

一体型シングル帯域ヘリカル

## 占有周波数帯域幅

< 200 kHz

## チャンネル間隔

スタンダードモード	350 kHz
ハイデンシティモード	125 kHz

## モジュレーションタイプ

Shure Axient デジタル所有権

## 電源

2 mW, 10 mW, 35 mW

## Specific Absorption Rate (SAR)

< 0.19 W/kg

# 周波数帯域および送信機出力

帯域	周波数帯域 (MHz)	RF送信出力 (mW) ***
G53	470 ~ 510	2/10/35
G54	479 ~ 565	2/10/20
G55†	470 ~ 636*	2/10/35

帯域	周波数帯域 ( MHz)	RF送信出力 ( mW) ***
G56††	470 ~ 636	2/10/35
G57	470 ~ 616*	2/10/35
G62	510 ~ 530	2/10/35
H54	520 ~ 636	2/10/35
K53	606 ~ 698*	2/10/35
K54△	606 ~ 663**	2/10/35
K55	606 ~ 694	2/10/35
K56◇	606 ~ 714	2/10/35
K57△	606 ~ 790	2/10/35
K58	622 ~ 698	2/10/35
L54	630 ~ 787	2/10/35
L60	630.125 ~ 697.875	2/10/35
P55	694 ~ 703、748 ~ 758、803 ~ 806	2/10/35
P60	630.125 ~ 697.875	2/10/35
R52	794 ~ 806	2/10
JB	806 ~ 810	2/10
X51	925 ~ 937.5	2/10
X55	941 ~ 960	2/10/35
Z16†††	1240 ~ 1260	2/10/30

\*608～614 MHz間に差がある

\*\*608～614 MHz間、616～653 MHz間に差がある。

\*\*\*電源はアンテナポートに供給されます。

†操作モードは地域によって異なります。ブラジルではハイデンシティモードを使用します。ペルーの最大出力レベルは10 mWです。

††インドネシアでは10 mWに制限されています。

†††Z16は日本のみ

△出力は、608 MHzを超える範囲では10 mWに制限されます。

◇韓国では、表で宣言されているよりも1 dB低い伝導 (ERP) として電力を定義しています。

เครื่องโทรคมนาคมและอุปกรณ์นี้มีความสอดคล้องตามมาตรฐานหรือข้อกำหนดทางเทคนิคของ กสทช.

## K55 606-694 MHz

Country Code	Frequency Range
Code de Pays	Gamme de frequences
Codice di paese	Gamme di frequenza
Código de país	Gama de frecuencias
Länder-Kürzel	Frequenzbereich
A, B, BG, CH, CY, CZ, D, DK, EST, F	*
FIN, GB, GR, H, HR, I, IRL, IS, L, LT	*
M, N, NL, P, PL, RO, S, SK, SLO, TR	*
all other countries	*

\* This equipment may be capable of operating on some frequencies not authorized in your region. See [Licensing Information](#).

## G56 470-636 MHz

Country Code	Frequency Range
Code de Pays	Gamme de frequences
Codice di paese	Gamme di frequenza
Código de país	Gama de frecuencias
Länder-Kürzel	Frequenzbereich
A, B, BG, CH, CY, CZ, D, DK, EST, F	*
FIN, GB, GR, H, HR, I, IRL, IS, L, LT	*
M, N, NL, P, PL, RO, S, SK, SLO, TR	*
all other countries	*

\* This equipment may be capable of operating on some frequencies not authorized in your region. See [Licensing Information](#).

## K57 606-790 MHz

Country Code	Frequency Range
Code de Pays	Gamme de frequences
Codice di paese	Gamme di frequenza
Código de país	Gama de frecuencias
Länder-Kürzel	Frequenzbereich
A, B, BG, CH, CY, CZ, D, DK, EST, F	*
FIN, GB, GR, H, HR, I, IRL, IS, L, LT	*
M, N, NL, P, PL, RO, S, SK, SLO, TR	*
all other countries	*

\* This equipment may be capable of operating on some frequencies not authorized in your region. See [Licensing Information](#).

電池、パッケージ、電子廃棄物については地域のリサイクル方法に従ってください。

本取扱説明書で指定された以外の電源、周波数、またはその他のパラメーターをユーザーが操作して制御することはできません。

## ライセンスについて

免許：本機器操作の際、行政上の免許が特定の地域で要求される場合があります。必要条件の有無については国内当局にお問い合わせください。書面によるShure Incorporatedの承認を得ることなく本機器の変更・改造を行った場合、装置を使用する権利が無効となる場合があります。Shureワイヤレスマイクロホン装置の免許取得は使用者の責任であり、免許の取得は使用者の区分とアプリケーション、周波数によって異なります。周波数の選択と購入の前に、適正な免許に関する情報を得るために監督機関にお問い合わせになることを強くおすすめいたします。

### 低功率射頻器材技術規範

取得審驗證明之低功率射頻器材，非經核准，公司、商號或使用者均不得擅自變更頻率、加大功率或變更原設計之特性及功能。低功率射頻器材之使用不得影響飛航安全及干擾合法通信；經發現有干擾現象時，應立即停用，並改善至無干擾時方得繼續使用。前述合法通信，指依電信管理法規定作業之無線電通信。低功率射頻器材須忍受合法通信或工業、科學及醫療用電波輻射性電機設備之干擾。

## オーストラリアの無線に関する警告

このデバイスは、ACMAクラスライセンスの下に動作しており、動作周波数を含む当該ライセンスのあらゆる条件に適合している必要があります。2014年12月31日までは、このデバイスは、520-820 MHz周波数帯域で作動される場合に適合しています。**警告**：2014年12月31日を過ぎたら、適合するためには、本デバイスを694-820 MHz帯域で作動させないでください。

# 認証

FCCパート15およびFCCパート74認定。

カナダにおいてRSS-210によりIC認可。

**FCC ID** : DD4AD2G55、DD4AD2G57、DD4AD2K53、DD4AD2K54、DD4AD2X55。 **IC** : 616A-AD2G55、616A-AD2K53。

次の欧州指令の必須要件を満たします：

- WEEE指令2012/19/EU (2008/34/EC改正)
- RoHS指令EU 2015/863

*注：電池および電気製品の廃棄については地域のリサイクル方法に従ってください*

本製品は、関連するすべての欧州指令の基本的要件を満たし、CEマークに適合しています。

Shure Incorporatedは、無線機器が指令2014/53/EUを順守していることを宣言します。EU適合宣言書の全文は以下のインターネットアドレスでご覧いただけます：<http://www.shure.com/europe/compliance>

ヨーロッパ認定代理店：

Shure Europe GmbH

ヨーロッパ、中東、アフリカ地域本部：

部門：EMEA承認

Jakob-Dieffenbacher-Str.12

75031 Eppingen, Germany

TEL : +49-7262-92 49 0

ファックス : +49-7262-92 49 11 4

Eメール : EMEAsupport@shure.de

- (一) 本产品符合“微功率短距离无线电发射设备目录和技术要求”的具体条款和使用场景；
- (二) 不得擅自改变使用场景或使用条件、扩大发射频率范围、加大发射功率（包括额外加装射频功率放大器），不得擅自更改发射天线；
- (三) 不得对其他合法的无线电台（站）产生有害干扰，也不得提出免受有害干扰保护；
- (四) 应当承受辐射射频能量的工业、科学及医疗（ISM）应用设备的干扰或其他合法的无线电台（站）干扰；
- (五) 如对其他合法的无线电台（站）产生有害干扰时，应立即停止使用，并采取措施消除干扰后方可继续使用；
- (六) 在航空器内和依据法律法规、国家有关规定、标准划设的射电天文台、气象雷达站、卫星地球站（含测控、测距、接收、导航站）等军民用无线电台（站）、机场等的电磁环境保护区域内使用微功率设备，应当遵守电磁环境保护及相关行业主管部门的规定。

## ユーザー情報

本装置はFCC規制第15部に準拠しています。操作は次の2つの条件の対象となります：

1. 装置は有害な干渉を起こしてはならない。
2. 装置は、望まない操作を起こす干渉を含め、あらゆる干渉を受け入れなければならない。

**注**：本機器はテストされFCC規定パート15に従いクラスBデジタル機器に適合しますが、制限があります。これらの制限は、住宅地域において設置する際、有害な電波干渉から機器を適度に保護するためのものです。本機器は電磁波を発生・使用し、放射する場合があります。取扱説明書に従って設置しないと無線通信に電波干渉が起きます。また、設置状況に関わらず妨害を引き起こす可能性もあります。本機器によりラジオやテレビの受信に電波干渉が起こるようであれば（これは、機器の電源を一度切ってから入れるとわかります）、次の手段を1つまたは複数用いて電波干渉を防いでください。

- 受信アンテナを別の方向に向けるか、別の場所に移す。
- 機器と受信機との距離を広げる。
- 受信機を接続しているコンセントとは別の回路にあるコンセントに機器を接続する。
- 販売店または熟練したラジオ/TV技術者に相談する。

本機器は、他の機器と共有される周波数で動作します。運用前に、利用する地域で使用可能なチャンネルを判別するために、連邦通信委員会のホワイトスペースデータベース管理ウェブサイト<sup>1</sup>を参照してください。

## カナダの無線に関する警告

このデバイスは、保護なし、干渉なしの方針に基づいて動作します。ユーザーが同じTV帯域で動作する他の無線サービスからの保護を求めるには、無線ライセンスが必要です。詳細については、Innovation, Science and Economic Development Canada（イノベーション・科学経済開発省）の文書Client Procedures Circular CPC-2-1-28（カスタマープロセスジャーキュラーの2-1-28）、Voluntary Licensing of Licence-Exempt Low-Power Radio Apparatus in TV Bands（テレビ帯域で運用される低電力ライセンス免除無線装置の自主的ライセンス）を参照してください。

Ce dispositif fonctionne selon un régime de non-brouillage et de non-protection. Si l'utilisateur devait chercher à obtenir une certaine protection contre d'autres services radio fonctionnant dans les mêmes bandes de télévision, une licence radio serait requise. Pour en savoir plus, veuillez consulter la Circulaire des procédures concernant les clients CPC.2.1.28, Délivrance de licences sur une base volontaire pour les appareils radio de faible puissance exempts de licence et exploités dans les bandes de télévision d'Innovation, Sciences et Développement économique Canada.

このデバイスには、Innovation, Science and Economic Development Canadaのライセンス免除RSS基準に適合しているライセンス免除の送信機/受信機が含まれています。操作は次の2つの条件の対象となります：

1. 装置は干渉を起こしてはならない。
2. 装置は、望まない操作を起こす干渉を含め、あらゆる干渉を受け入れなければならない。

L'émetteur/récepteur exempt de licence contenu dans le présent appareil est conforme aux CNR d'Innovation, Sciences et Développement économique Canada applicables aux appareils radio exempts de licence. L'exploitation est autorisée aux deux conditions suivantes :

1. L'appareil ne doit pas produire de brouillage;
2. L'appareil doit accepter tout brouillage radioélectrique subi, même si le brouillage est susceptible d'en compromettre le fonctionnement.